

## 第4章 計画の内容

### 基本目標Ⅰ 男女共同参画に向けた意識改革

#### 重点目標1

男女共同参画の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

#### 現状と課題

社会では、「男だから」「女だから」ということで、さまざまな場面で活動が妨げられることがあります。この根底には、「男は仕事、女は家庭」といった、「社会的性別（ジェンダー）」に基づく**固定的性別役割分担意識**があります。

このような固定的性別役割分担意識は、人々の意識の中に長い時間をかけて形成されたもので、大分県が実施した県民意識調査からも「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感しない」の割合は徐々に増えてきていますが、まだ過半数に達していない状況にあり、固定的役割分担意識は、時代と共に弱まってきているものの、未だに根強く残っています。

あらゆる人々に対して、男女共同参画に関する意識を深め、定着させるため誰もが分かりやすい広報・啓発活動を市全体に展開するとともに、様々な社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直すことが求められています。

#### 施策の方向

施策	具体的な施策	
男女共同参画啓発活動の促進	市報、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用した情報の提供と意識啓発を行います。	市長政策課
	男女共同参画に関するパンフレットやポスター、統計資料など収集し、市民への情報提供に努めます。	市長政策課

	男女共同参画週間、人権週間等の多様な機会を通じて、市民の意識啓発に取り組めます。	市長政策課 人権・同和对策課
	男女共同参画啓発のための研修会や講演会などを開催し、広く市民の意識啓発を行います。	市長政策課
	市職員を対象とした研修を実施し、男女共同参画の視点に立った職員の意識づくりに努めます	市長政策課
家庭・地域・職場等における社会制度・慣行の見直し	家庭・地域・職場などあらゆる分野での社会制度・慣行において、性別で不利益が生じているものや生じるおそれのあるものについて、見直しを呼びかけます。	市長政策課 人権・同和对策課 生涯学習課

#### 【数値目標】

項 目	平成 24 年度	平成 29 年度
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合	50.8%	70%
男女共同参画の周知度	77.3%	100%

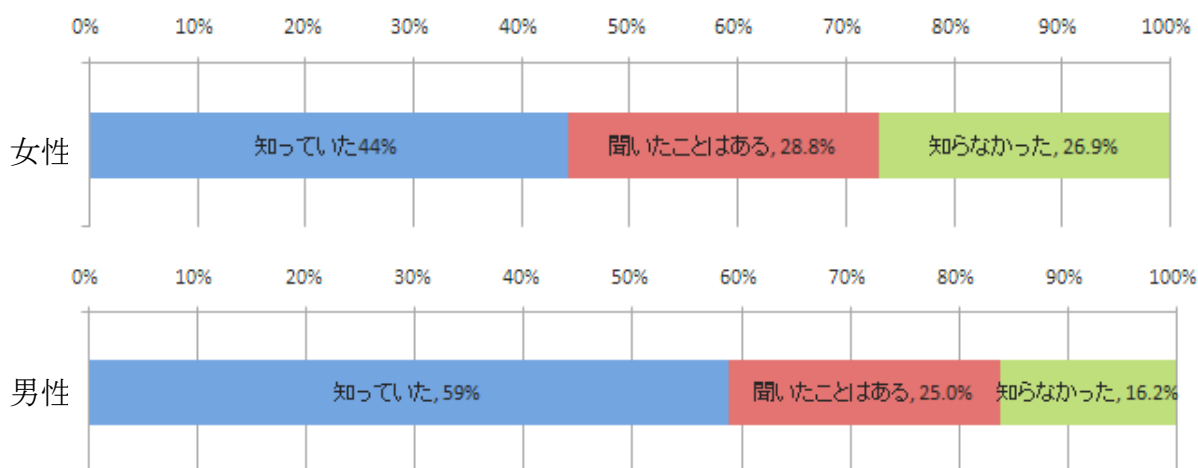
#### 【杵築市男女共同参画に関する市民意識調査（H24.9）】

##### ◆「男は仕事、女は家庭」という考え方に50.8%が「同感しない」

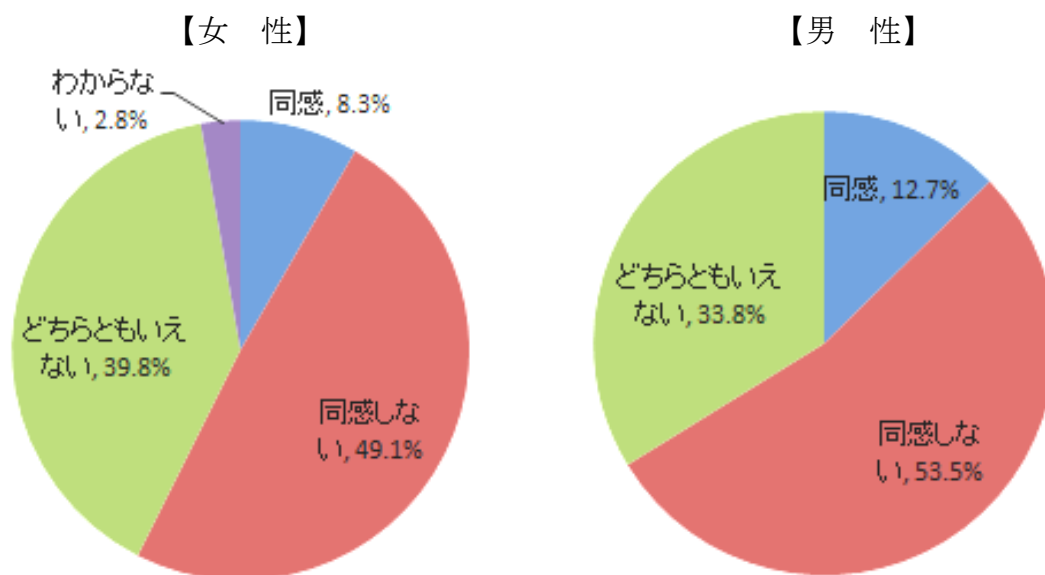
平成24年9月に実施しました市民意識調査では、「男は仕事、女は家庭」など性別によって役割を固定する考え方について、「同感する」との回答は、10.1%（女性8.3%、男性12.7%）でした。

一方「同感しない」の割合は、全体で50.8（女性49.1%、男性53.5%）と男女ともに半数近くを占めていました。また、「どちらともいえない」は37.4%（女性39.8%、男性33.8%）、「わからない」といった回答が1.8%（女性のみ）で、固定的な性別役割分担について「同感しない」の割合が大分県の数値46.5%を上回る結果となりました。

○「男女共同参画について」



○「男は仕事、女は家庭」という考え方について



## 重点目標 2

## 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

### 現状と課題

男女共同参画を実現するためには、女性も男性も、誰もがお互いの個性や意思を尊重しながら自立の意識を有することが不可欠です。そうした男女の人権尊重や男女平等の意識を育てる基礎となる教育・学習が果たす役割は極めて重要です。

学校では、学級活動やホームルームでも男女平等に関する教育が進められています。学校教育全体を通して、男女の平等、自立の意識を育むことができるよう、教職員の研修も実施しながら、性別ではなく個人の個性や能力を尊重した教育・学習を進める必要があります。

地域においては、少子化・核家族化の影響で人間関係が希薄化する傾向にあります。高齢化や情報化、国際化など社会が多様化している中で、市民の生涯学習活動に対するニーズが高まっています。女性も男性も男女平等の観点に立った主体的な生き方を可能にする開かれた学習体制の整備と、男女共同参画の視点を取り入れた学習の機会を提供していくことが必要です。

### 施策の方向

施策	具体的な施策	
学校教育における教育・学習の推進	教育関係者が男女共同参画の理念を理解し、男女共同参画意識を高めることができるよう計画的、体系的な研修を実施していきます。	教育総務課 学校教育課
	学校教育全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じ、人権の尊重、男女の平等、家庭生活の大切さなどについての指導の充実を図ります。	教育総務課 学校教育課
	学校長をはじめとする教職員を対象に男女共同参画の理解と意識を高めるための研修会を実施していきます。	教育総務課 学校教育課
	男女がお互いの性について正しく認識するため子どもの発達段階と学習指導要領に沿って性に関する指導の充実を図ります。	教育総務課 学校教育課

	児童生徒の段階から男女を問わず健全な食生活を実現するため食育を推進します。	教育総務課 学校教育課
地域における教育・学習の推進	男女共同参画の意識を高め、固定的性別役割分担にとらわれない意識が醸成できるよう、地域における学習機会の提供を促進します。	生涯学習課
	男女が共に参加しやすい各種講演会や研修会に男女共同参画の内容を取り入れ、学習機会の提供に努めます。	生涯学習課
	家庭教育支援の充実を図るため、家庭教育に関する学習機会の提供を行います。	生涯学習課

【杵築市男女共同参画市民意識調査（H24.9）】

市民意識調査では、「男女の地位は平等になっていると思いますか。」の質問に対して、もっとも平等と考えられているのが学校教育の場で、60.0%とこれだけが半数を超えています。次は「法律や制度上」が40.4%となっています。

逆に「男性が優遇・どちらかといえば男性が優遇」を合わせると社会通念・慣習・しきたりで79.9%、政治の場76.9%、社会全体68.8%、職場64.9%、家庭生活62.2%、地域活動や社会活動54.2%、法律や制度の上36.7%となっています。

NO		家庭生活	職場	学校教育の場	活動 地域活動・社会	政治の場	法律や制度上	習・しきたり 地域社会の通念慣	社会全体
1	男性が優遇	15.1	23.8	5.5	10.7	35.5	9.6	27.8	14.1
2	どちらかといえば男性が優遇	47.1	41.1	13.3	43.5	41.4	27.1	52.1	54.7
3	平等である	25.6	28.0	60.0	33.3	16.0	40.4	12.4	19.4
4	どちらかといえば女性が優遇	6.4	1.8	4.8	1.8	0.6	7.2	1.8	2.4
5	女性が優遇	0.6	0.6	0.0	1.2	0.0	1.2	0.6	1.2
6	わからない	5.2	4.7	16.4	9.5	6.5	14.5	5.3	8.2

(単位：%)